



# 自活だより



令和4年度 鹿児島聾学校  
自立活動係 N o .4

## 生活音を気にしてみよう！！

私たちは、社会生活を営む上で、必ず音を発生させています。特に生活音は毎日の生活の中で出る音なので、音の種類・音の出る時間・場所は、いつも同じとは限りません。昼間は気にならなかった音でも、早朝や夜間に周りが静かになれば、うるさく感じることもあります。

### さまざまな生活音 ～身のまわりのものが発生源～

- ① 家庭用機器から出る音  
冷蔵庫・洗濯機・乾燥機・掃除機など
- ② 家庭用設備、住宅から出る音  
空調機、水道、バスタイレの給排水、ドアや引き出しの開閉など
- ③ 生活行動に伴う音  
話し声、泣き声、笑い声、飛び跳ねる音など
- ④ 食事中に出る音  
スープを吸う、うどんをすする、口の中で噛む、食器やスプーンが当たる音など
- ⑤ その他  
自動車、オートバイの空ふかし、犬猫の鳴き声、風鈴など

音は、空気の振動によって伝わります。伝わる過程で壁や天井・地面にぶつかり拡散しながら小さくなっていきます。私たちは生活をするときには、いろいろな音を発生させています。自分の足音、ドアを開閉するときの音など不快に感じる音の大きさではないか、周りの人に確認してみましよう。

## 補聴器業者への連絡方法（再確認）

本校では光電鹿児島(火曜)、鹿児島補聴器(木曜)に限り、13:20に来校してもらっています。ただし、保護者による事前予約が必要です。予約の方法を説明します。

|                   |                            |                                       |                             |                                       |  |  |
|-------------------|----------------------------|---------------------------------------|-----------------------------|---------------------------------------|--|--|
| ①<br>親子。補聴器に用事がある | ②<br>光電鹿児島か鹿児島補聴器に入れてください。 | ③<br>保護者が子ども補聴器の状態を業者に伝え、予約を入れるてください。 | ④<br>保護者が業者に予約を入れたことを担任に伝えま | ⑤<br>保護者は子ども補聴器の状態を確認し、業者と約束してあることを確認 | (将来の自立を目指す)<br>予約した人は担任はと一緒に聴覚相談センターに行き、予約表に記入します。 | や電話でお知らせします。<br>業者が来校したら、予約した人、担任と一緒に補聴器を見てもらいます。自活担当も同席します。結果を連絡帳 |
|-------------------|----------------------------|---------------------------------------|-----------------------------|---------------------------------------|--|--|

補聴器業者さんの来校日 時間 13:20～ (要件のある時だけ来校)

|             |                   |          |
|-------------|-------------------|----------|
| 光電鹿児島       | 火曜日               | 児玉 重幸さん  |
| 鹿児島補聴器      | 木曜日               | 井ヶ倉 豪介さん |
| リネットセンター鹿児島 | 予約を受けてから日時決定をします。 |          |

# 中・高等部の自立活動について

自立活動は、他の特別支援学校においても、聾学校においても特色ある学習の一つであり、大切な学習の一つです。本校では幼稚部入学から高等部卒業までの間、全ての教育活動の中で自立活動の学習は進められています。ここから数回の自立活動により、幼稚部から高等部までの自立活動（特に専任が担当する自立活動）の中で学部ならではの学習について紹介します。

## ○ 高等部の自立活動 ～間もなく社会人～

高等部では、いずれ社会に出る生徒たちにより具体的に、より実際に近い形での学習に取り組んでいます。

例えば、自動車免許取得時の話

|              |                        |
|--------------|------------------------|
| 「車など、車両、自動車」 | 車を説明する言葉です。正しく説明できますか？ |
| 「駐車、停車」      | 違いを理解できますか？            |
| 「追い越し、追い抜き」  | 違いを説明できますか？            |
| 「徐行」         | 具体的に説明できますか？           |

私も自動車を運転していますが、上記の言葉を説明するとなるとできるかなあ？と不安になりますね。

免許取得のためには試験があります。実技試験に加えて学科試験(筆記試験)が行われるために、書かれている言葉を理解することが必要になります。このように、卒業に向けて必要なことを中心に言葉の理解を進めています。また他には、情報保障としての手話通訳者派遣方法や電話リレーサービス、遠隔手話通訳サービス、福祉、視聴覚障害者情報センター(ハートピア鹿児島内)の利用方法など(予定)、卒業後を具体的にイメージした学習をそれぞれの進路状況も考えながら行っていきます。下の写真は4月から最近までの学習の紹介です。



平均聴力値の計算中



オーディオグラムに数値を記入中

聴力測定室で得た測定値をオーディオグラムに記入する学習も行っています。グラフ記入のためには、記入方法の理解が必要であり、自分の補聴器・人工内耳の製品名や型番号などの個人情報理解、グラフ記入のルールや平均聴力値の計算方法の理解、前回のグラフと比較などを通して、自分のきの状態を把握する学習を行っています。

## ○ 中学部の自立活動 ～ホップ・ステップ・ジャンプのステップ～

「中学部」は、ホップ・ステップ・ジャンプのステップの段階かな？と思うことがあります。

高等部卒業までを見越して、力をぐっと蓄えるとき・・・様々な学習を行っています。



水道の流れる音



扇風機の音



チャイムの音

騒音計を使って生活音を調べる活動。音を数値化することで、自分のきこえとの差を視覚的に理解するとともに、自分が生活上で発生する音の気付きやトラブル回避につなげる学習です。(障害認識)

小学校4年生くらいから徐々に抽象的な概念が求められ(例えば、目に見えない「空気」の理解)言葉で理解する必要があります。中学部、高等部の段階に入るとさらに専門用語もたくさん出てきます。日々、言葉を曖昧のままにせず、便利なスマホや辞書を使って意味まで調べる習慣を身に付けてほしいと思います。